

2015年のありがとう

校長 鈴木 隆志

光っ子たちには「自尊感情」がしっかりと育まれています。「自尊感情」は心の健康や適応の基盤をなすもので、人格形成や情緒の安定のために大変重要であると言えます。自尊感情が高い人ほど、他者の存在に対して敬意を払うことが可能になります。自尊感情の高い光っ子たちには、思いやりや優しさがあり、互いに助け合うことができているのです。

「肯定的に評価されている・支えてくれている・自分のために教えてくれている」という思いは、子供たちを“包み込む感覚”として、なくてはならないことだと考えます。そして、規範となる身近な人たち（教職員・親・家族・地域の大人・先輩・友達等）の生き方を“モデル”としながら、子供たちは成長していくのです。

「自尊感情」につながるものとして最も大切なのは、成就感や満足感といった「自己有用感」です。その「自己有用感」は、人との関わりの中で育まれていきます。本校では、人との関わりを重視した教育活動を、組織的・計画的・意図的に推進しています。

私は、人との関わりの中で、「ありがとう」の言葉を、最も大切にしていきたいと考えています。「ありがとう」の言葉は、他者のために時間を使ってくれた人がいるからこそ生まれ出る言葉だからです。人のために時間を使う光っ子、人の役に立つ光っ子に育てていきたいのです。

『ありがとうという言葉は、ポケットにしまっってはいけません。』これは、外国の格言です。私からも、「ありがとう」の言葉を届けます。

■光っ子たちに「ありがとう」

「おはようございます」や「こんにちは」の挨拶をすすんでする子、たくさんの友達と一緒に外で元気に遊ぶ子、明るく素直な子、正直でうそをつかない子、「ごめんなさい」が言える子、何事にも前向きに取り組む子、最後まであきらめずに頑張る子、下級生に優しい子、友達を助けてあげる子、そんな光っ子たちに囲まれて、私は幸せです。光っ子たち、ありがとう。

■保護者の皆様に「ありがとう」

学校の教育方針、経営計画、教育内容、活動状況等に、多大なる御理解と御協力をいただいていることに感謝です。学校への大きな信頼と期待を寄せていただいていることにも感謝です。行事ごとのアンケート等に、忌憚のない御意見をいただいていることに感謝です。また、子育ての悩みや不安を学校と共有し、共に考えていただいていることにも感謝です。保護者の皆様、ありがとう。

■地域の皆様に「ありがとう」

「チーム八小」という言い方をしますが、チームというのは学校内だけではなくありません。保護者や地域も含めて、コミュニティとしての「チーム八小」です。光が丘や田柄の地域の皆様には、学校の行事でお世話になっているだけでなく、様々な取組や活動で御尽力いただいています。地域の皆様に支えられている八小です。地域の皆様、ありがとう。